

美術鑑賞アプリ あとみる

佐賀大学

佐賀電算センター

共同開発



10/17-1/5
CAMK コレクション
熊本市現代美術館
アプリ利用無料

使い方



1. QR コードを
読み込む



2. ログインする

ログインなしでも問いの閲覧はできますが、記入及び回答の閲覧は出来ません。



3. 施設・展覧会
を選択する

熊本市現代美術館を選択してください。
日本語・やさしい日本語・英語の3種類があります。



今後の改善のために
右下のアンケートの
ご協力をお願いいたします。

あとみるとは？

どう思う？

作品の前で使う鑑賞アプリ

あとみるは、美術館や博物館などの実際に作品がある空間で、鑑賞をお手伝いするアプリです。

作品ごとに「問い」が設定してあり、問いをもとに作品を見ることで、今までと異なる鑑賞体験のきっかけを作ります。

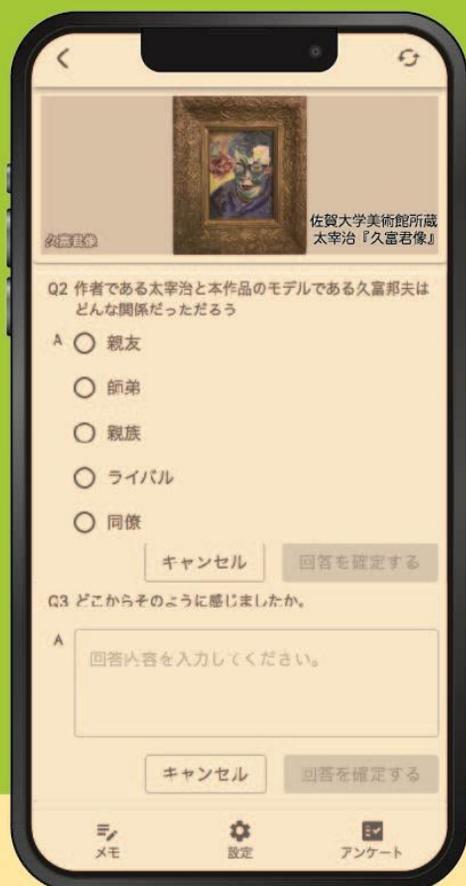


どう見たら良いか分からない。を解消する

「どこが一番目が行ったの？」

「どうしてそう感じたの？」

あとみるには、絵画を見て自分がどう感じるか？を考える問いや、素材や技法を実際に見ながら推測する問い、モチーフに着目する問いなど様々な問いがあります。問いは、答えやすいものから段階的に知識なしで答えられるものを用意しています。



3つのポイント

1. 知識不要

作者や制作年などの専門知識が必要な問いはありません。どう思う、考えるかなど、作品と自分についての問いです。

2. 新たな見方

記述式や選択式など様々な種類の問いがあります。気になった作品や問いだけでも自由にお答えください。

3. 他者との意見交換

問いへの回答後、他人の回答を匿名で見ることが出来ます。対話で得られる気付きを、一人で静かに行えるアプリです。

[アプリ監修者] 藤井康隆 (佐賀大学芸術地域デザイン学部准教授)
[アプリ開発企画] 川浪綾乃 (佐賀大学大学院地域デザイン研究科)
島山志穂 / 山崎奏音 / 酒井みなみ
(佐賀大学芸術地域デザイン学部学生)

[お問い合わせ] E-mail: dxpo@sdncs.co.jp
問い合わせ先: 佐賀電算センター 担当者: 丹野

2024年10月16日

株式会社佐賀電算センター

P R E S S R E L E A S E

佐賀大学生と開発した美術館鑑賞アプリの実証を開始します

国立大学法人佐賀大学 芸術地域デザイン学部博物館学研究室(藤井康隆准教授)と株式会社佐賀電算センター(代表取締役社長:宮地大治、佐賀県佐賀市)は、美術館鑑賞アプリの開発に取り組んでいます。このたび、熊本市現代美術館の所蔵作品を対象にアプリの実証を開始します。

今回の実証では、アプリ内の「問いかけ」を日本語・英語・やさしい日本語で準備しました。インバウンド需要の増加、熊本県内の半導体企業誘致に伴い、外国人来館者を対象としたアクセシビリティ向上は熊本県内のミュージアムにとって課題の1つです。そこで、個々人の作品鑑賞を深めることと併せて、国籍を問わず、アプリ上で意見や感想を交わし、多様性の相互理解や文化交流のきっかけとなるツールを目指します。

▼実施概要

主催：国立大学法人佐賀大学 芸術地域デザイン学部博物館学研究室
株式会社佐賀電算センター

開催日程：2024年10月17日(木)～2025年1月5日(日)

場所：熊本市現代美術館 ギャラリーⅢ

企画展名：GⅢ-Vol.157 CAMK コレクション

それは いつかの だれかの どこかの 世界

住所：熊本県熊本市中央区上通町2-3

開館時間：10時～20時

休館日：毎週火曜、年末年始(12月30日～1月3日)

観覧料：無料(アプリについても無料でお使いいただけます。)

イベント日程：11月10日(日) 12時30分～13時30分 / 15時30分～16時30分

11月24日(日) 12時30分～13時30分 / 14時30分～15時30分

参加者にはノベルティをプレゼント(先着)



画面イメージ

本アプリは、美術の見方や着眼点がわからず、美術を楽しめない人のために開発しました。美術館でよく利用されている作品を解説するアプリとは異なり、作品ごとに問いかけを設定しています。鑑賞者はそれを受けて想いを巡らせ、自分の意見や見方を入力することで作品との深い対話を行うことができます。予備知識を必要とせず、他の鑑賞者と感想や着眼点を共有でき、共感や新たな気づきを得ることで多くの方に美術を楽しんでもらえるものとなっています。純粹に作品と向き合い、自分なりの楽しみ方を見つけることができるのが特徴です。

株式会社佐賀電算センターは佐賀大学との共同開発やデジタル人材育成に関する包括連携協定を締結しております。その一環の活動として今後も大学教員・学生と佐賀大学内に設置している当社の R&D センターを核として共同実証・開発を行っていき、地域産業活性化を推進してまいります。

<本件に関するお問い合わせ> TEL：0952-34-1500 / E-mail:dxpo@sdcons.co.jp
株式会社佐賀電算センター 経営管理本部 DX 推進室 丹野・澄川
佐賀大学芸術地域デザイン学部（藤井）E-mail：fujiiyas@cc.saga-u.ac.jp